



# 絹本着色花鳥図 (孫億筆)

指定名称 けんぼんちやくしよくかちょうず 絹本着色花鳥図 (孫億筆) (県指定有形文化財絵画)  
員数 1幅  
所在地 久米島町字宇根5  
指定年月日 昭和53年4月1日  
所有者 喜久村 絜 弘

そんおく孫億は明朝末から清朝(17世紀後半頃)にかけて福州で活躍した中国の画家で、花鳥図など伝統的な写生画を得意としている。

琉球の絵師である石嶺伝莫や上原真知らは、1683年に中国に渡り、孫億の指導を受けたが、孫億から学んだ絵師が琉球にもたらした画法が琉球画壇に与えた影響は大きく、沖縄の代表的な画家の座間味庸昌(いんげんりょう殷元良)の作品にも孫億の流れがみられる。

久米島の喜久村家に伝わる花鳥図

は、1756年に来琉した冊封使一行が久米島沖で遭難した際、救助にあたった宇根親雲上絜聡(現喜久村家)に感謝のしるしとして贈ったものである。中国から影響を受けた沖縄の絵画史を考える上で貴重な資料である。